

第129期中間報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで

TAKEBISHI REPORT

129

株
主
の
皆
様
へ

京都の町で、技術商社として育まれて90年。

たけびしは、お客様に満足と感動を提供してまいりました。

弛まぬ革新を続ける古都が秘めている「時代への適応力」をしっかりと受け継ぎ、
これからも時代の最先端で挑戦を続けてまいります。

株主の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社は1926年の創業以来、京都・滋賀地区を主力地盤に、三菱電機製品を中心とした
産業用電機・電子機器を取扱う技術商社として、多くのお客様に支えられながら今日の経営基盤を築いてまいりました。

“たけびし”は、産業機器、半導体・デバイス、社会インフラ、情報通信という社会のあらゆるシーンにおいて、
お客様の満足と感動を提供し続ける“トータルソリューション技術商社”として、時代の最先端で挑戦を続けてまいります。

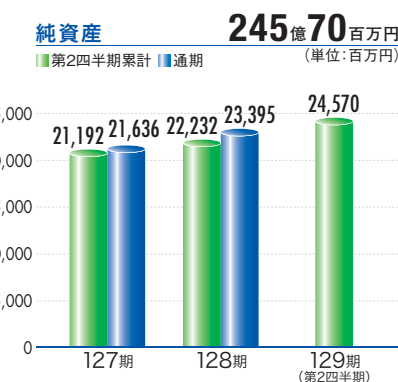
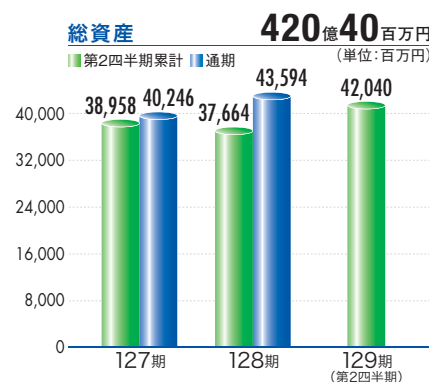
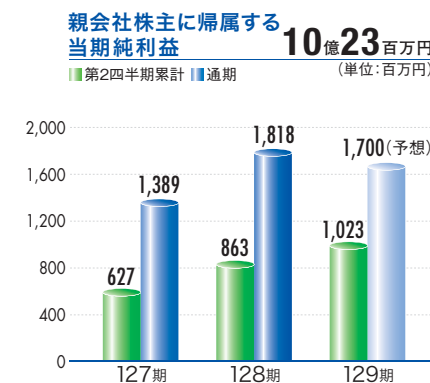
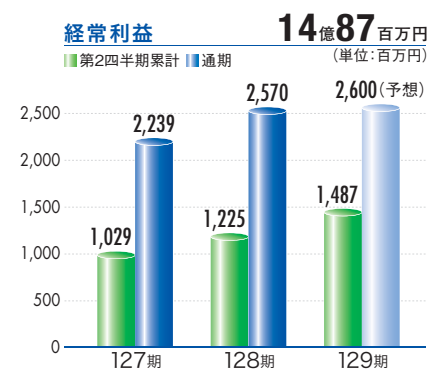
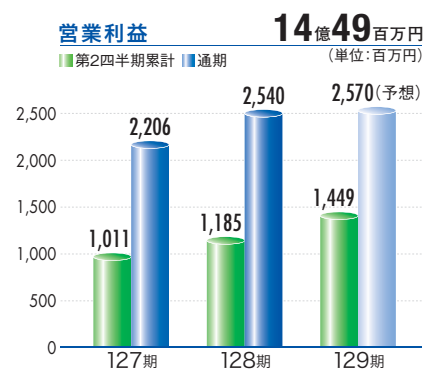
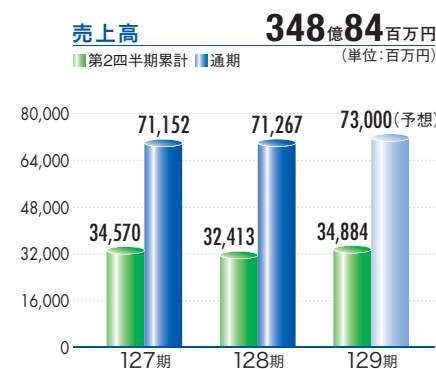
“京都発 最強の技術商社”を目指し、これからも皆様と共に歩んでまいり所存です。今後ともご愛顧の程よろしくお願い致します。

株主の皆様におかれましても、なにとぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 小倉 勇



決算ハイライト(連結)



連結貸借対照表(要旨)			(単位:百万円)
科 目	当 第 2 四 半 期 連 結 会 計 期 間 末 (平成29年9月30日現在)	前 連 結 会 計 年 度 末 (平成29年3月31日現在)	
資 産 の 部			
流 動 資 産	32,994	35,114	
固 定 資 産	9,046	8,479	
POINT.1 資 産 合 計	42,040	43,594	
負 債 の 部			
流 動 負 債	15,726	18,643	
固 定 負 債	1,743	1,554	
POINT.2 負 債 合 計	17,470	20,198	
純 資 産 の 部			
株 主 資 本	23,375	22,631	
その他の包括利益累計額	1,194	763	
POINT.3 純 資 産 合 計	24,570	23,395	
負 債 純 資 産 合 計	42,040	43,594	

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書(要旨)			(単位:百万円)
科 目	当 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 [平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで]	前 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 [平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで]	
売 上 高	34,884	32,413	
売 上 原 価	29,775	27,790	
売 上 総 利 益	5,109	4,622	
販売費及び一般管理費	3,659	3,436	
営 業 利 益	1,449	1,185	
営 業 外 収 益	97	98	
営 業 外 費 用	59	59	
経 常 利 益	1,487	1,225	
特 別 利 益	244	142	
特 別 損 失	183	23	
税金等調整前四半期純利益	1,548	1,344	
法人税、住民税及び事業税	551	437	
法人税等調整額	△ 27	43	
四 半 期 純 利 益	1,023	863	
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,023	863	

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)			(単位:百万円)
科 目	当 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 [平成29年4月 1日から 平成29年9月30日まで]	前 第 2 四 半 期 連 結 累 計 期 間 [平成28年4月 1日から 平成28年9月30日まで]	
POINT.4 営 業 活 動 による キャッシュ・フロー	962	328	
POINT.5 投 資 活 動 による キャッシュ・フロー	254	101	
POINT.6 財 務 活 動 による キャッシュ・フロー	△ 260	△ 417	
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	△ 110	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	969	△ 98	
現金及び現金同等物の期首残高	3,818	4,318	
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,787	4,219	

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務ポイント

POINT.1 資産合計(流動・固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、流動・固定合計で前連結会計年度末比15億53百万円減少し、420億40百万円となりました。これは主に、売上債権の減少34億7百万円によるものであります。

POINT.2 負債合計(流動・固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、流動・固定合計で前連結会計年度末比27億28百万円減少し、174億70百万円となりました。これは主に、仕入債務の減少31億43百万円によるものであります。

POINT.3 純資産合計

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末比11億75百万円増加し、245億70百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加7億44百万円によるものであります。

POINT.4 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、9億62百万円(前年同期は同3億28百万円)となりました。これは主に、仕入債務の減少等の要因により一部相殺されたものの、税金等調整前四半期純利益が15億48百万円あったことによるものであります。

POINT.5 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果得られた資金は、2億54百万円(前年同期は1億1百万円)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入が2億66百万円あったことによるものであります。

POINT.6 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、2億60百万円(前年同期は同4億17百万円)となりました。これは主に、配当金の支払額が2億79百万円あったことによるものであります。

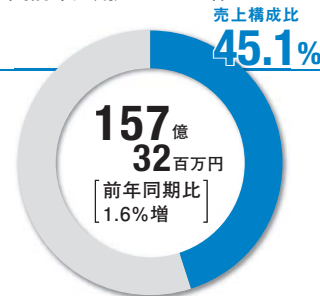
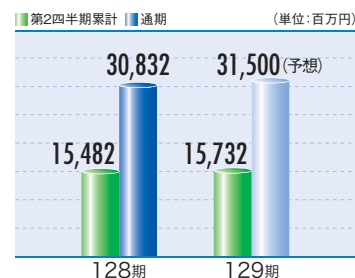
産業機器システム

Industrial equipment and Systems

概況

産業機器システム分野においては、産業用加工機が前年に大口案件が集中したことから減となりましたが、半導体製造装置向けを中心にFA機器が堅調に推移したことから、この部門全体では売上高前年同期比1.6%の増となりました。

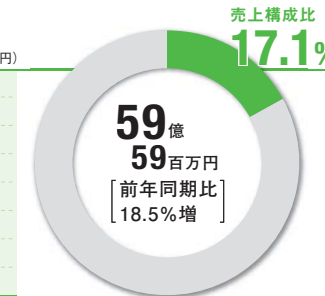
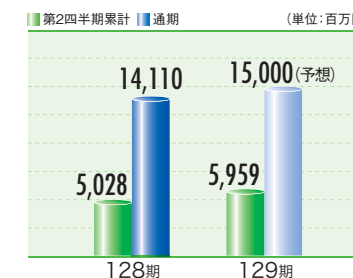
売上高



社会インフラ

Social Infrastructure

社会インフラ分野においては、病院向け医療装置に加えて空調システムが好調に推移したことから、この部門全体では売上高前年同期比18.5%の増となりました。



概況

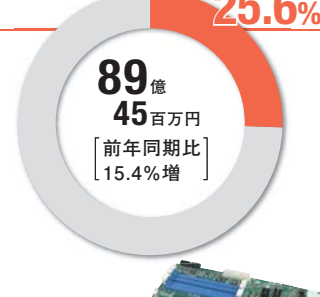
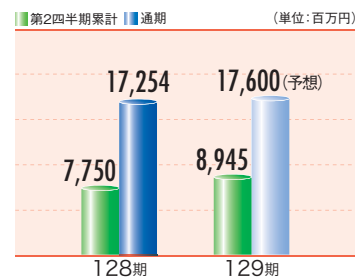
売上高

社会・情報通信事業

概況

半導体・デバイス分野においては、産業機器関連向けの半導体が好調に推移したことに加え、電子ペーパー等の新規デバイス商材が拡大したことから、この部門全体では売上高前年同期比15.4%の増となりました。

売上高

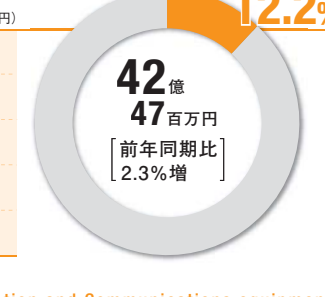
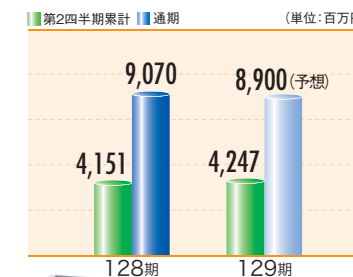


Semiconductors and Devices

半導体・デバイス



情報通信分野では、主力の携帯電話が若干減少したものの、PC、サーバー等が増加したことから、この部門全体では売上高前年同期比2.3%の増となりました。



Information and Communications equipment

情報通信

概況

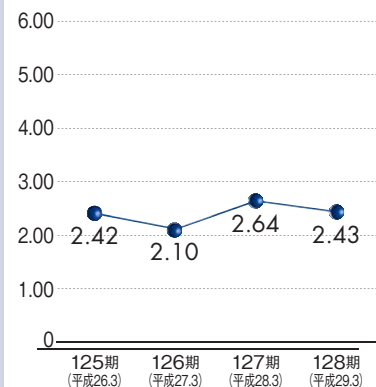
売上高

株価・配当利回りの推移

株価 (単位:円)

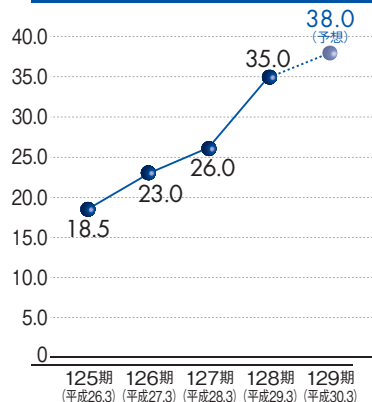


配当利回り (単位:%)

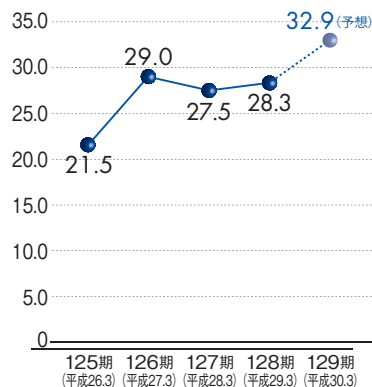


1株当たり配当金・配当性向の推移

1株当たり配当金 (単位:円)

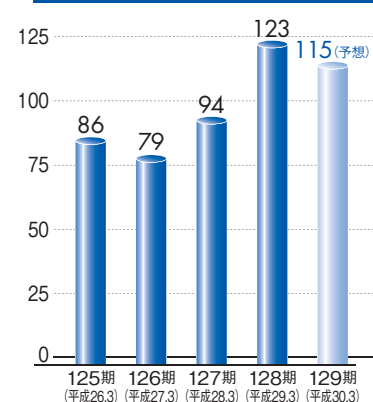


配当性向 (単位:%)



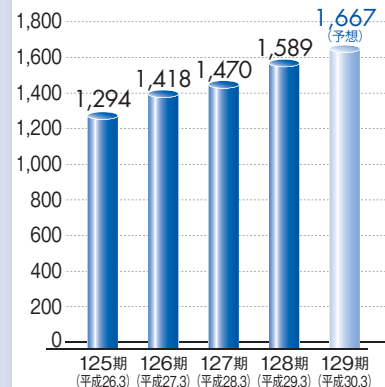
1株当たり当期純利益・1株当たり純資産の推移

1株当たり当期純利益 (単位:円)



(注)円未満を切り捨てて表示しております。

1株当たり純資産 (単位:円)



(注)円未満を切り捨てて表示しております。



トピックス

Topics.1

新社長就任のご挨拶

京都発・最強の技術商社へ

伝統と技術の町 京都で育った たけびし だからこそできることがあるはずです。

たけびしは、人と人、技術と技術でお客様・取引先様との「つながり」を創出する技術商社です。お客様のお困りごとを見つけ、課題解決に必要な製品を提案し、時にはオリジナル商品により、お客様の多様なニーズにお応えしてまいりました。技術商社としての更なる飛躍を目指して、海外の商材開拓や取引先の拡大を推進し、これからもお客様の課題解決のために、たけびしは全力で取り組んでまいります。



代表取締役社長 小倉 勇

Topics.2

たけびしフェア2017開催

「超えてつながる!link ソリューション」

「たけびしフェア2017」(第11回)を、7月13日(木)～14日(金)の2日間、開催致しました。2日間で1,995名の来場を賜りました。今回は、画期的な進化をもたらす次世代ソリューションをキーワードに、「超えてつながる!link ソリューション」を共通コンセプトとし、「IoT」・「デバイス」・「ファクトリー」・「ファシリティ」の各ゾーンにて、最新の技術をわかりやすくご紹介しました。



会社情報

商 号 株式会社 たけびし
 英 文 商 号 TAKEBISHI CORPORATION
 設 立 大正15年(1926年)4月24日
 資 本 金 25億5,472万5,400円
 上 場 市 場 東京証券取引所市場第一部
 人 員 従業員(連結)588人(単独)377人
 総人員(連結)704人(単独)402人
※総人員には臨時雇用を含む。
 本 社 京都市右京区西京極豆田町29番地
 支 店 東京(横浜市港北区) 名古屋(名古屋市中村区)
 滋賀(滋賀県彦根市) 栗東(滋賀県栗東市)
 畿北(京都府福知山市) 大阪(大阪市北区)
 九州(福岡市博多区)
 営 業 所 甲府(山梨県甲府市)
 関 係 会 社 国内:(株)フジテレコムズ、(株)TSエンジニアリング、
 竹菱興産(株)
 海外: 竹菱香港有限公司、竹菱(上海)電子貿易有限公司、
 竹菱(上海)電子貿易有限公司 天津分公司
 TAKEBISHI EUROPE B.V.
 TAKEBISHI (THAILAND) CO.,LTD.

ホームページ <http://www.takebishi.co.jp>

役員及び執行役員

取締役会長	藤原宏之	之勇博孝
代表取締役社長	小倉本之	橋孝憲
取締役専務執行役員	亀井正和	田口彦久
取締役上席常務執行役員	西田武浩	岩田志明
取締役執行役員	坂口和彦	久志裕紀
取締役執行役員	岩田武浩	志夫
取締役(相談役)	平井出	浩克
社外取締役	松木瀬田	善紀
取締役(常勤監査等委員)	廣山	田善紀
社外取締役(監査等委員)	山田善紀	紀夫
執行役員	竹中秀浩	志夫
執行役員	岡垣浩克	志寛
執行役員	中内克寛	

株式情報

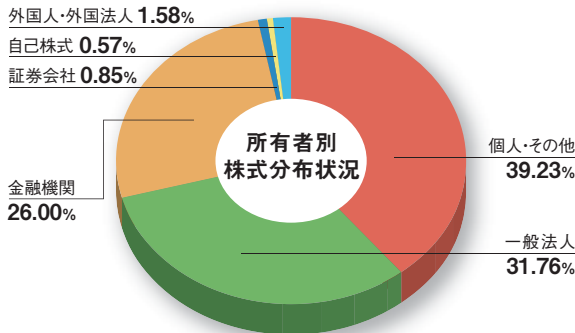
- 発行可能株式総数：28,280,000株
- 発行済株式の総数：14,798,600株
- 株主数：11,519名

大株主の状況

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱電機株式会社	2,340	15.90
株式会社立花エレテック	1,059	7.20
株式会社サンセイテクノス	763	5.19
たけびし従業員持株会	719	4.89
株式会社三菱東京UFJ銀行	562	3.82
矢野チズ子	438	2.98
株式会社京都銀行	428	2.91
三菱UFJ信託銀行株式会社	326	2.22
京都中央信用金庫	253	1.72
株式会社滋賀銀行	237	1.61

(注) 1.持株比率は自己株式(83,789株)を控除して計算しております。
 2.株式会社立花エレテックの持株数には、株式会社立花エレテックが退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式600千株(持株比率4.08%)を含んでおります。

株式分布状況



株主様向け

INFORMATION

探しやすい

読みやすい

情報が

IR情報トップ

IRサイトのご案内

当社のIRサイトでは、IRニュースや決算情報、業績ハイライト等を掲載しています。最新情報を分かりやすくご提供できるよう取組んでおりますので、ぜひご覧ください。

最新情報

IRニュース・決算情報をご覧ください。

業績ハイライト

過去からの業績推移等をグラフでご覧いただけます。

株主メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会

6月下旬

基

準

日

定時株主総会 3月31日

剰余金の配当 期末3月31日

中間9月30日

(その他必要ある場合は、公告のうえ設定します)

株主名簿管理

人

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同

連

絡

先

〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

電話(通話料無料)0120-094-777

(土・日・祝祭日を除く9:00～17:00)

公

告

方

法

電子公告の方法により行います。

(ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。)

公告掲載URL (<http://www.takebishi.co.jp>)

ご 注 意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎ致します。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払い致します。

<http://www.takebishi.co.jp>

本社／〒615-8501 京都市右京区西京極豆田町29番地 TEL (075) 325-2111 FAX (075) 325-2250



環境に配慮した植物油インキを使用しております。